



参議院 70 周年記念子ども国会

平成 29 年、参議院は創設 70 周年を迎えました。これを記念して、様々な記念事業が行われましたが、その一つとして、平成 29 年 7 月 30 日（日）及び 31 日（月）の 2 日間、「参議院 70 周年記念子ども国会」が開催されました。参議院主催の子ども国会は、5 年ぶり、4 回目となります。

今回の子ども国会は、参加する子ども国会議員が、「私たちがつくる未来」をテーマに意見を述べ合い、一つの宣言を共同で作りに上げていくという経験をするることにより、立法府としての参議院が果たす役割や自分たちを取り巻く問題について理解を深めてもらうことを開催の目的としています。

47 都道府県から選出された 150 名の子ども国会議員（小学 5、6 年生及びこの年齢に相当する全ての子どもを対象に募集し、合計 1,107 件の応募があり、各都道府県から 3 名又は 4 名が選出されました）が参議院に集まり、交流を深めました。

子ども国会議員は、1 日目には、子ども国会開会式に続いて、「家族やふるさとを大切にするために」、「ことばや暮らしが違う人と仲よくしていくために」、「みんなが安心して生活できる社会にするために」、「オリンピック・パラリンピックを成功させるために」、「いのちや環境の大切さを知ってもらうために」、「便利な社会にするための発明、発見を行うために」の 6 つのテーマに対応する子ども委員会に分かれて、意見発表と活発な意見交換を行い、これを基にして子ども国会宣言案がまとめられました。

2 日目の子ども本会議において採択された「子ども国会宣言」は、

- ・家族や地域の人とふれあい、ふるさとの自然や伝統を大事にし、ふるさとのことをよく学び、その魅力を広める
- ・世界の人たちと理解し合い、お互いの違いを尊重することが大切で、積極的に世界の人たちと交流し、相手の文化やことばを学び、日本のことも伝える
- ・お年寄りや体の不自由な人の気持ちを理解し、地域の様々な人たちとのきずなを深めることにより、災害時の助け合いや防犯につながり、みんなが安心して暮らすことができる
- ・オリンピック・パラリンピックで来日する人や障がいのある人が困らないように様々な工夫をし、日本全体で大会を盛り上げ、文化やおもてなしの精神など日本の魅力を発信する
- ・ほかの生き物のいのちや地球の環境を守り、持続可能な社会を作っていくために、自然を守ること、地球温暖化を防ぐこと、ゴミを減らすことなどに積極的に取り組む
- ・新しいことを始めようとしている人を応援する制度や環境づくりが大切で、不便で困っている人を助けるには、どんな発明や発見が必要か、常に考える姿勢を持ち続けることなどを内容としています。子ども国会議員による真摯な話し合いの成果であるこの宣言の全文は、参議院ホームページに掲載されていますので、是非御覧ください。

きぐれ まさかず
(木暮 雅和・議事部議事課)